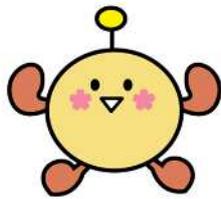


令和6年度

岡崎市こども発達センター事業報告



種の妖精
すーりん



葉っぱの妖精
くーりん



花の妖精
もーりん



こども発達センター 西棟



こども発達センター 東棟（体育館棟）

センター長 あいさつ

子どもたちはみな、自分らしさを持っています。
親は、子どもが自分らしい人生を歩んでほしいと願う中で、子どもの育てにくさを感じたり、健診や園でのご指摘を受けたりして、子育てに自信が揺らいだり、不安や心配で心が重く感じることもあるでしょう。
当センターでは、子ども一人一人に合った育ち方をスタッフがご家族と共に考え、全力でお手伝いします。
どんな些細なことでも、いつでもお気軽にご相談ください。

岡崎市こども発達センター長 辻 健史

目次

第1	岡崎市こども発達センターの概要	
1	理念・運営の方針・各センターの基本姿勢	1
2	沿革	3
3	建築概要	4
4	事業概要	4
5	職員体制	5
6	岡崎市の発達に心配のある子の早期発達支援システム	6
第2	こども発達相談センター	
1	にこにこきっず1（健診事後教室）	7
2	にこにこきっず2（療育的支援事業）	9
3	専門相談	11
4	電話相談	14
5	すくも相談	15
6	就学时相談・就学後支援	16
7	福祉サービス等個別相談	18
8	園巡回	19
9	訪問支援	20
10	地域啓発（研修・出前講座等）	21
11	各種会議	23
第3	こども発達医療センター	
1	診療（初診・再診）	24
2	発達評価	26
3	支援	27
4	啓発事業	29
5	その他の事業	30
第4	こども発達支援センター	
1	児童発達支援事業（親子療育めばえ・単独療育わかば・保育後療育つばさ）	32
2	保育所等訪問支援事業（あおい）	35
3	日中一時支援事業（たんぼぼ）	36
4	相談支援事業	36
5	きょうだい支援	37
6	家族支援	37
第5	S P C（P F I事業者）管理部門の事業	
1	総合受付	39
2	託児室	39
3	オープン・スペース（一般開放の遊戯室）	40
4	体育館等有料施設	40

※ 本報告における「発達」とは、発達障害者支援法に定める発達障がい及びその疑いを含むものを指す。

第1 岡崎市こども発達センターの概要

1 理念・運営の方針・各センターの基本姿勢

岡崎市こども発達センターは 施設・職員が以下のコンセプトのもと
子どもの状況に合わせた支援を提供します

理念

発達に心配のある子どももそうでない子どもも ともに生まれ育った地域で
自分らしく生き生きと笑顔で生活できるよう 発達支援の拠点機能を果たします

運営の方針

発達に心配のある子どもが 早期に必要な相談・医療・支援を受けられるように
します

発達に心配のある子どもおよび不安を抱える家族が 持てる力・育つ力を最大限
に引き出す支援をします

保健・医療・福祉・教育機関のネットワークを構築し 切れ目ない発達支援体制
を整備します



各センターの基本姿勢

【こども発達相談センター】

～ともに気づき支える～

子どもの普段の様子や家族の困り感を丁寧に聞き
対応方法や必要な支援を保護者と一緒に考えます

発達に心配のある子をはじめ、発達障がいに関する
地域の理解を深める事業を行います

【こども発達医療センター】

～ともに向き合い受けとめる～

多方面から子どもの様子を確認し
発達評価や診断を行います

子どもの発達特性に合った医療的支援を行います

【こども発達支援センター】

～ともに受けとめ育む～

子どもの成長・発達状況に合わせた支援計画を作成し
適切な療育を行います

子どもがより良い環境で育つように
家族、支援者を対象に支援を行います

2 沿革

年月	内容
平成 25 年 3 月	「岡崎市こども発達センター等基本計画」策定
平成 27 年 6 月	こども発達センター西棟（新築部分）土地購入
平成 28 年 1 月	こども発達センター西棟（新築部分）建設工事着工
平成 29 年 3 月	こども発達センター西棟（新築部分）建設工事竣工
平成 29 年 4 月	こども発達センター西棟（新築部分）開所
平成 29 年 4 月	岡崎市こども発達センター条例・施行規則施行 療育的支援事業（にこにこきっず1）、専門相談開始【相談】 保険診療開始【医療】 岡崎市福祉事業団指定管理受託（～令和3年）【支援】 児童発達支援事業（定員80名 親子療育「めばえ」・単独療育「わかば」・保育後療育「つばさ」）・保育所等訪問支援事業「あおい」・わかば相談支援事業所開始【支援】
平成 30 年 4 月	こども発達センター東棟（体育館棟・既存部分）改修工事着工 児童発達支援事業（並行通園「こだま」）開始【支援】
平成 31 年 1 月	こども発達センター東棟（体育館棟・既存部分）改修工事竣工
平成 31 年 2 月	こども発達センター東棟（体育館棟・既存部分）開所
平成 31 年 3 月	児童発達支援事業（並行通園「こだま」）終了【支援】
平成 31 年 4 月	就学相談開始【相談】 啓発事業（就学）開始【医療】 日中一時支援事業（定員10名「たんぼぼ」）開始【支援】
令和 2 年 4 月	福祉部からこども部へ所管変更【相談】 総合子育て支援センターから療育的支援事業（にこにこきっず2）・就園相談を事業移管。療育的支援事業（にこにこきっず2）を事業委託し実施【相談】
令和 3 年 4 月	療育的支援事業（にこにこきっず1）を保健部へ事業移管（療育的支援事業から健診事後教室に変更）【相談】 わかば相談支援事業所廃止、福祉の村相談支援事業所の分室に統合【支援】 岡崎市福祉事業団指定管理受託（～令和8年）【支援】
令和 4 年 4 月	啓発事業（特性）開始【医療】 児童発達支援事業（親子療育1歳児クラス「めばえ」）開始【支援】
令和 5 年 2 月	医療的ケア見室整備【支援】
令和 6 年 4 月	保健部から健診事後教室（にこにこきっず1）を事業移管【相談】

※ 【】は各センターを省略して表記

3 建築概要

所在地 愛知県岡崎市欠町字清水田 6 番地 4

敷地面積 8,560.82 m²

	こども発達センター西棟	こども発達センター東棟（体育館棟）
構造	鉄筋コンクリート造（耐火建築物）	鉄筋コンクリート造（一部鉄筋鉄骨コンクリート造）
階数	地上 3 階、塔屋 1 階	地上 1 階、一部地上 2 階
各床面積	1 階：1,456.27 m ² 、2 階：1,257.18 m ² 3 階：1,362.05 m ² 、R 階：15.36 m ² 計：4,090.86 m ² （建築面積：3,304.17 m ² ）	1,398.79 m ² （建築面積：1,415.6 m ² ）
最高の高さ	12.293m	
昇降機設備	26 人乗り：1 台、11 人乗り：2 台	
駐車等台数	駐車場：46 台、駐輪場：6 台	駐車場：20 台、駐輪場：10 台

4 事業概要

岡崎市こども発達センター（すくも）			
名称	こども発達相談センター	こども発達医療センター	こども発達支援センター
場所	3 階	3 階	1・2 階
運営主体	岡崎市こども部	岡崎市民病院 （発達小児科・児童精神科・リハビリテーション科）	岡崎市福祉事業団 （指定管理）
事業内容	健診事後教室（にこにこきっず1） 療育的支援事業（にこにこきっず2） 専門相談 電話相談 すくも相談 就学時相談・就学後支援 福祉サービス等個別相談 園巡回 訪問支援	診察及び発達検査 グループ活動（はじめてさんの会） 個別リハビリテーション（言語療法/作業療法/心理面接） 集団リハビリテーション（年長グループ） 啓発事業（保護者向け勉強会）	児童発達支援事業（めばえ、わかば、つばさ） 保育所等訪問支援事業（あおい） 日中一時支援事業（たんぼぼ） 障がい児相談支援事業（こども発達支援センター・福祉の村相談支援事業所 分室） 保護者・きょうだいへの支援 地域の事業所支援者支援
対象	概ね 6 歳まで（未就学児）の発達に心配のある子ども及びその保護者		
	発達障がい・知的障がい ※ 18 歳までは教育機関等と連携して相談対応	発達障がい（知的障がいなし・軽度）	発達障がい・知的障がい

岡崎市こども発達センターの整備は、民間の資金とノウハウを活用し効果的な公共サービスの提供を図る PFI 手法で整備・運営している。全体的な運営・維持管理は SPC（特別目的会社）が行い、具体的な事業は、異なる事業主体が協力し事業を行う。なお、こども発達センター東棟（体育館等）は有料施設として利用が可能である。

5 職員体制

(単位：人)

所属	職種	正規職員	非常勤職員	合計
こども発達 相談センター	保健師	2	2	20
	保育士	2	3	
	公認心理師・臨床心理士	4	0	
	社会福祉士	0	1	
	精神保健福祉士	1	0	
	元教員	2	0	
	事務職	3	0	
こども発達 医療センター	医師	3	6	30
	看護師	2	2	
	保育士	1	2	
	公認心理師・臨床心理士	3	1	
	作業療法士	2	0	
	言語聴覚士	3	0	
	事務職	1	1	
	医療秘書	0	1	
	受付	2	0	
こども発達 支援センター	保育士	24	23	90
	児童発達支援管理責任者	2	0	
	児童指導員（社会福祉士・介護福祉士）	2	1	
	看護師	3	1	
	公認心理師・臨床心理士	7	1	
	作業療法士	1	0	
	理学療法士	0	1	
	言語聴覚士	2	0	
	訪問支援員	2	0	
	管理栄養士	1	0	
	事務職	3	0	
	調理員	2	10	
	運転手	0	2	
	相談支援専門員	2	0	
SPC	運営責任者	1	0	12
	受付	3	1	
	保育士	1	4	
	維持管理責任者	1	0	
	維持管理職員	0	1	
合計		88	64	152

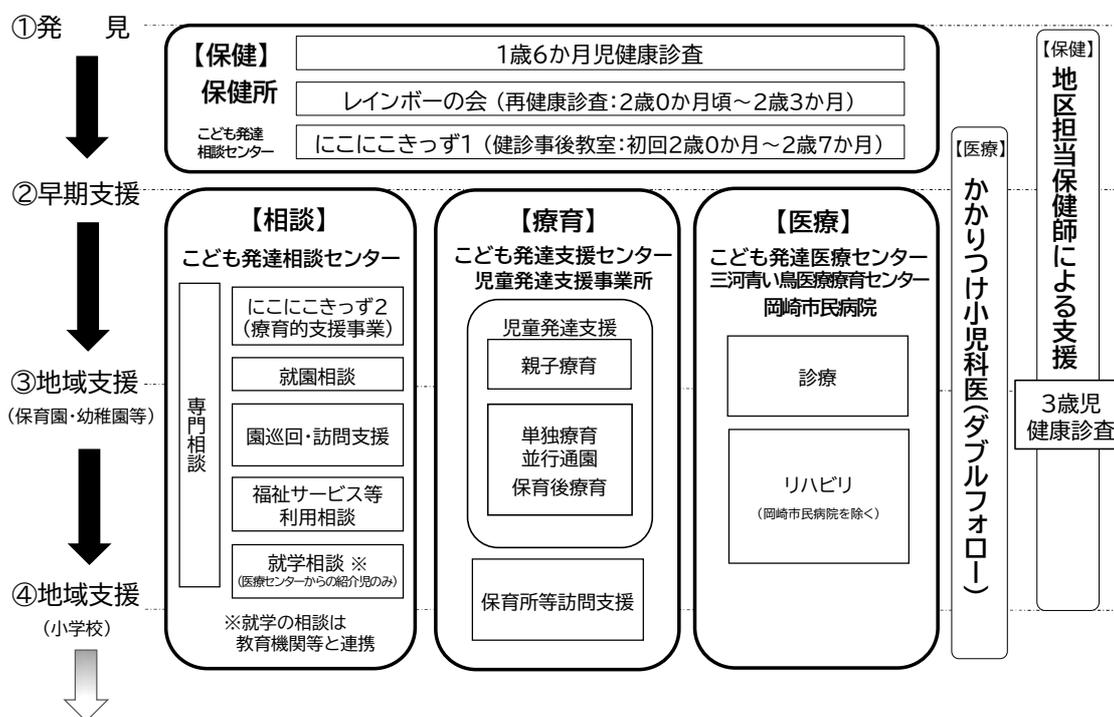
令和7年3月31日現在

6 岡崎市の発達に心配のある子どもの早期発達支援システム

本市では、発達に心配のある子どもが1歳6か月児健康診査後の早期から就学するまで、地域でスムーズに支援を受けられるよう、保健・福祉・保育・教育等の関係機関と協議し、早期発達支援システムを構築した。令和2年度の早期支援システム検討部会で課題の洗い出しを行い、早期発見や支援体制の拡充を図るために、令和3年度から新たな早期発達支援システムの運用を開始した。システムの主な変更点としては、保健部健康増進課で「レインボーの会（1歳6か月児健康診査事後の発達に関する再健康診査）」を開始するとともに、令和2年度までこども発達相談センターにて療育的支援事業として実施していた「にこにこきっず1」を健診事後教室として健康増進課に事業移管した点である。

令和6年度からは、他業務・他機関との連携を考慮して「にこにこきっず1」の実施主体をこども発達相談センターに移管した。「レインボーの会」・「にこにこきっず1」の利用を通して、早期にその子どもに合った相談先や支援につなぐことを目指している。

令和6年度 岡崎市早期発達支援システム 概要図



第2 こども発達相談センター

1 にこにこきっず1（健診事後教室）

※ 令和6年度から事業の実施主体を保健部健康増進課からこども発達相談センターへ移管

(1) 目的

健康増進課が実施するレインボーの会（1歳6か月児健康診査事後の発達に関する再健康診査）で精神発達面の継続支援が必要であると判断された子どもに対し、親子遊びや集団遊びを通じて支援方針を検討する。また、子どもの発達にあった対応の仕方や社会資源の活用も踏まえた支援を行う。

(2) 対象

レインボーの会で要観察となった子ども等のうち、にこにこきっず1の参加が望ましいと判断され、初回参加時点において2歳0か月から2歳7か月の子どもとその保護者。

(3) 実施方法

ア 会場及び定員

こども発達センター東棟（体育館棟）研修室

1回当たり13組（最大15組）、1組の参加回数は概ね5回程度

イ 従事者

こども発達相談センター（保育士、保健師）、健康増進課（保健師）

(4) 内容

親子遊び、集団遊び、保護者支援

(5) 実施状況

ア 令和6年度実績（曜日別）

（単位：回、人）

区分	実施回数	新規参加者数	延べ参加者数		
			対象児	保護者	兄弟・姉妹
火曜日	37	69	335	386	34
水曜日	41	74	350	402	45
金曜日	42	64	349	393	46
合計	120	207	1,034	1,181	125

※ 実施回数は対象児の減少等により8回中止

イ 年度別実績（実施回数、対象児）

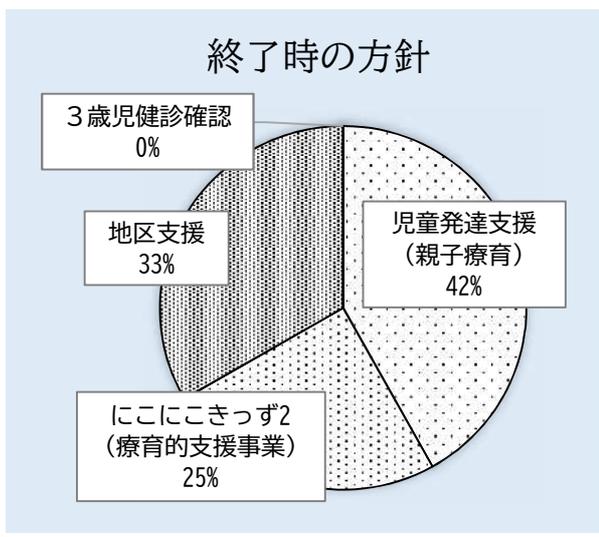
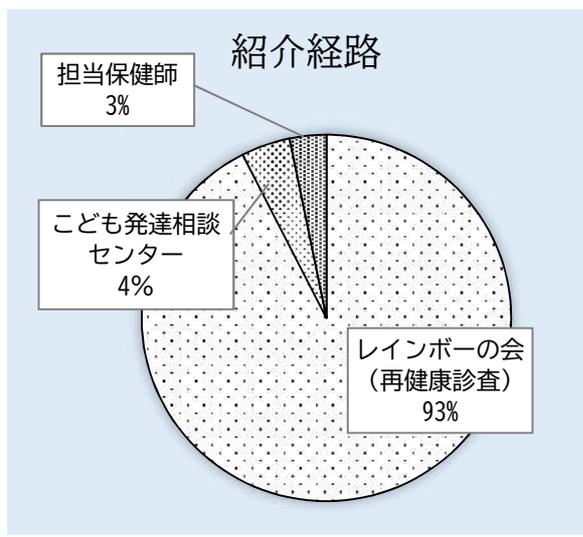
（単位：回、人）

区分		R3	R4	R5	R6
実施回数		96	143	138	120
対象児	新規参加者数	210	313	280	207
	延べ人数	841	1,417	1,289	1,034

※ 令和3年度から令和5年度は、健康増進課が実施した実績を掲載

※ 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、令和3年7月から9月、令和4年1月・2月は事業を一部中止、または参加回数・参加者数を縮小して実施

ウ 令和6年度 紹介経路・終了時の方針



2 にこにこきっず2（療育的支援事業）

(1) 目的

小集団において発達の遅れや特性への気づきや理解を促し、早期に適切な支援に結び付けるとともに、集団活動の機会が増える前に社会性を育む場を専門職のもとで提供する。

(2) 対象

にこにこきっず1（健診事後教室）や専門相談等から案内された当該年度に満3歳を迎える、次のア・イに該当する子どもとその保護者

ア 集団生活（就園を想定）の前に、社会性を育む体験が必要とされている。

イ 発達に関する育児相談や就園相談等で利用が必要と判断されている。

(3) 実施方法

ア 会場及び定員、実施回数

市内4会場（岡崎市こども発達センター、岡崎げんき館、こども発達支援センターむつみ、つどいの広場おひさま）、1回あたり最大15組、1会場あたり年間34回

※ 令和2年度は3会場のみ

イ 従事者

保育士、言語聴覚士、臨床心理士、元教員

(4) 実施状況

ア 年度別実績（総数、会場別内訳）

（単位：回、人）

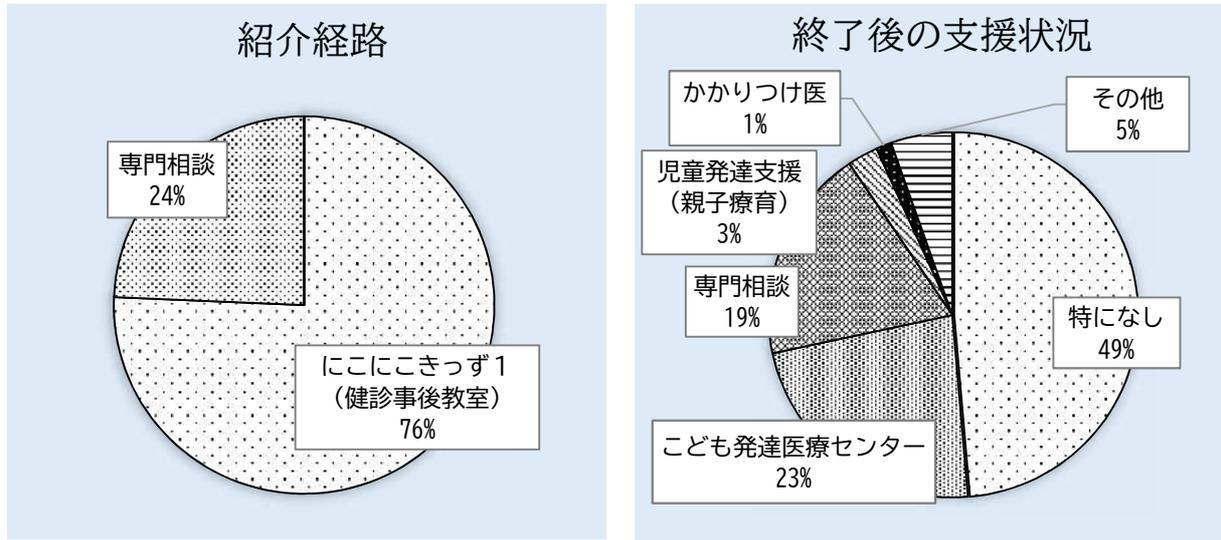
区分		R2	R3	R4	R5	R6	
総数	実施回数	102	136	136	136	136	
	実人数	71	59	59	64	73	
	延べ人数	690	1,113	1,211	1,136	1,371	
会場別内訳	岡崎市こども発達センター	実施回数	34	34	34	34	34
		実人数	26	16	18	20	18
		延べ人数	265	327	327	329	379
	岡崎げんき館	実施回数	34	34	34	34	34
		実人数	20	15	14	16	21
		延べ人数	202	220	276	286	318
	こども発達支援センターむつみ	実施回数	-	34	34	34	34
		実人数	-	11	10	12	17
		延べ人数	-	224	220	272	314
	つどいの広場おひさま	実施回数	34	34	34	34	34
		実人数	25	17	17	16	17
		延べ人数	223	342	388	249	360

※ 令和2年度から、事業の実施主体の変更に伴い民間事業者へ委託事業として実施

※ 新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、令和2年4・5月は事業を中止し電話による個別フォローを実施。令和3年1月は全会場1回ずつ中止

※ 会場別内訳について、こども発達支援センターむつみは令和5年度まで六ツ美南保育園会場での実施分、つどいの広場おひさまは令和6年4月までこころん会場での実施分を計上

イ 令和6年度 紹介経路・終了後の支援状況



3 専門相談

(1) 目的

発達に心配のある子どもと保護者に対し、子どもの観察及び将来を見据えて成長発達のために必要な助言・相談を行うことで、早期に必要な支援に結び付ける。

(2) 対象

主に発達に心配のある就学前の子どもとその保護者

(3) 従事者

公認心理師、保健師、保育士、精神保健福祉士

(4) 実施状況

ア 年度別実績（総数、居住地、相談回数、初回年齢別） （単位：人、％）

区分		R2	R3	R4	R5	R6（構成比）	
総数		556	601	529	581	468	
居住地	岡崎市	534	563	502	548	431	(92)
	幸田町	18	35	26	31	37	(8)
	その他・不明	4	3	1	2	0	(0)
相談回数	初回	449	445	381	438	356	(76)
	継続	107	156	148	143	112	(24)
初回 年齢別	～1歳6か月	3	3	0	0	0	(0)
	1歳7か月～2歳	55	16	12	7	7	(2)
	2歳1か月～2歳6か月	114	86	49	42	49	(14)
	2歳7か月～3歳	72	83	76	88	68	(19)
	3歳1か月～4歳	93	115	128	142	99	(28)
	4歳1か月～5歳	63	88	56	90	76	(21)
	5歳1か月～6歳	44	48	50	60	49	(14)
	6歳1か月～7歳	5	6	10	9	8	(2)
	7歳1か月～	0	0	0	0	0	(0)
	計	449	445	381	438	356	(100)
初回 年齢別 (再掲)	1歳			9	5	6	(2)
	2歳			107	117	104	(29)
	3歳			139	147	109	(31)
	4歳			60	94	80	(23)
	5歳			54	64	47	(13)
	6歳～			12	11	10	(3)
		計			381	438	356

※ 初回年齢別内訳は、令和4年度から変更

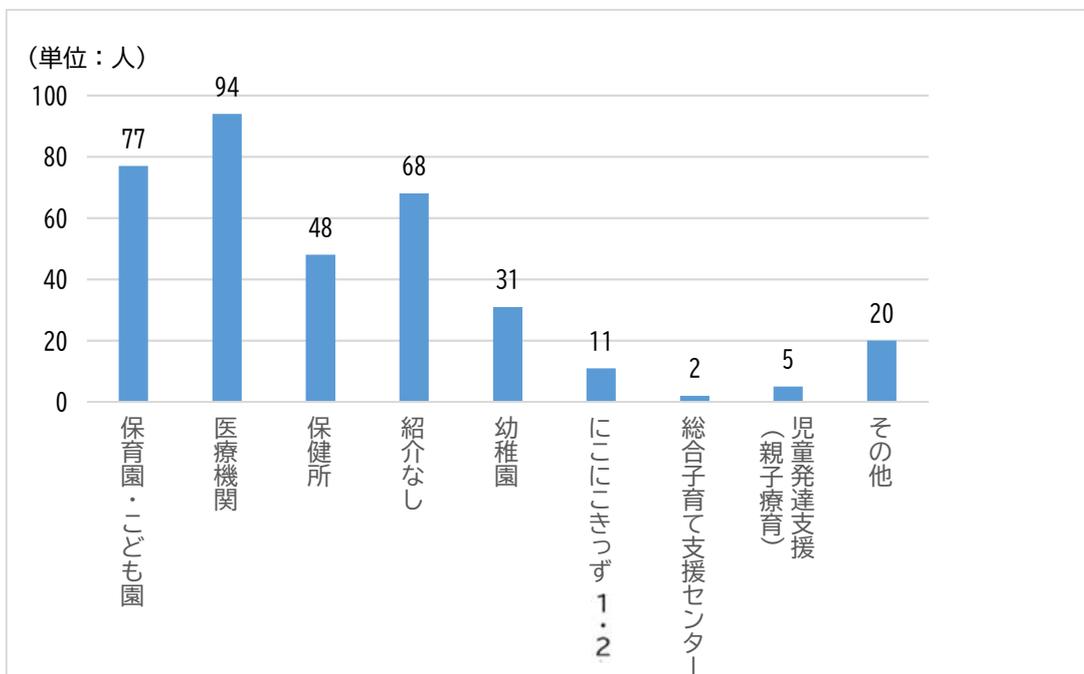
※ 構成比（割合）は、小数点以下第1位を四捨五入しているため、値の合計は必ずしも100とはならない

イ 年度別相談件数（月別）

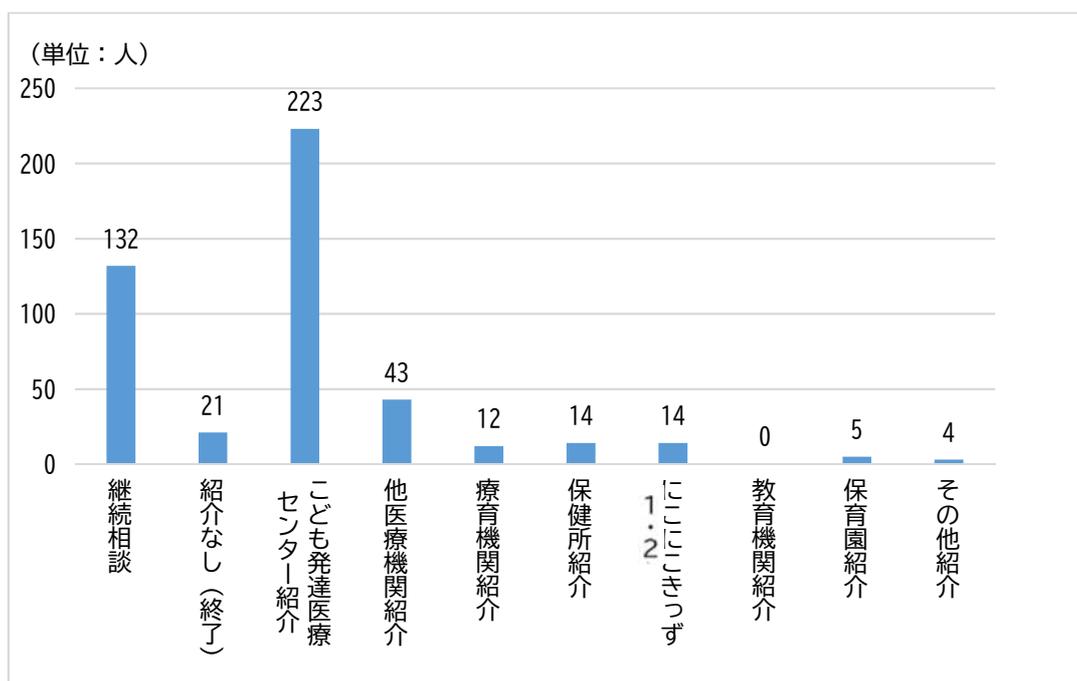
（単位：人）

区分	R2		R3		R4		R5		R6	
		(再掲) 新規								
4月	35	27	43	39	31	22	38	33	29	21
5月	39	34	28	13	38	26	62	42	37	27
6月	30	22	44	31	49	32	52	36	42	38
7月	53	42	58	44	49	38	52	42	45	36
8月	47	39	59	40	52	36	60	43	38	29
9月	48	39	52	34	43	30	45	30	36	26
10月	57	43	54	43	47	35	40	33	51	38
11月	50	45	55	41	52	37	55	39	46	29
12月	52	44	46	36	44	35	44	36	43	27
1月	43	36	57	44	34	24	49	40	38	30
2月	51	39	47	39	46	34	46	37	31	25
3月	51	39	58	41	44	32	38	27	32	30
計	556	449	601	445	529	381	581	438	468	356

ウ 令和6年度 初回相談経路



エ 令和6年度 相談後の方針



4 電話相談

(1) 目的

発達に心配のある子どもの保護者等からの電話に対して必要な助言・相談を行い、早期に必要な支援に結び付ける。

(2) 対象

主に発達に心配のある就学前の子どもの保護者

(3) 従事者

保健師、保育士、公認心理師、精神保健福祉士等

(4) 実施状況

ア 年度別実績（総数、発達相談内訳）

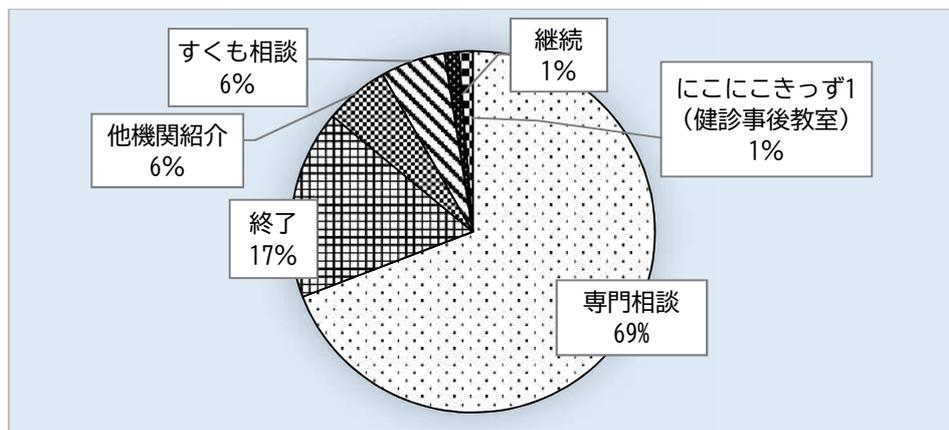
（単位：人、％）

区分		R2	R3	R4	R5	R6	
総数		1,499	1,427	1,512	1,423	1,258	
うち発達相談数		657	754	712	632	645	
発達相談内訳 （構成比）	居住地	岡崎市	609 (92.7)	702 (93.1)	672 (94.4)	588 (93.0)	598 (92.7)
		幸田町	29 (4.4)	35 (4.6)	20 (2.8)	27 (4.3)	26 (4.0)
		その他・不明	19 (2.9)	17 (2.3)	20 (2.8)	17 (2.7)	21 (3.3)
	年齢別	0歳	0 (0.0)	4 (0.5)	0 (0.0)	1 (0.2)	10 (1.6)
		1歳	72 (11.0)	42 (5.6)	44 (6.2)	40 (6.3)	46 (7.1)
		2歳	246 (37.4)	219 (29.0)	171 (24.0)	140 (22.2)	164 (25.4)
		3歳	130 (19.8)	215 (28.5)	212 (29.8)	182 (28.8)	149 (23.1)
		4歳	98 (14.9)	142 (18.8)	121 (17.0)	131 (20.7)	132 (20.5)
		5歳	54 (8.2)	70 (9.3)	91 (12.8)	88 (13.9)	74 (11.5)
		6歳	15 (2.3)	15 (2.0)	27 (3.8)	20 (3.2)	22 (3.4)
7歳以上		42 (6.4)	47 (6.2)	44 (6.2)	28 (4.4)	48 (7.4)	
不明	0 (0.0)	0 (0.0)	2 (0.3)	2 (0.3)	0 (0.0)		

※ 総数のうち、発達相談数以外は事業などの問合せや個別ケース調整数を計上

※ 構成比（割合）は、小数点以下第1位を四捨五入しているため、値の合計は必ずしも100とはならない場合がある

イ 令和6年度 発達相談後の紹介先



5 すくも相談

(1) 目的

発達に心配のある子どもの保護者等に対し、就園に関する情報提供及び相談・助言を行うことで、子どもや保護者にとってより適切な就園に結び付ける。また早期発達支援システムの狭間で不安や切迫感を抱える保護者に対して、保育士・保健師が地域の相談場所に出向くなどしてきめ細やかに相談対応をすることで、保護者がひとりで抱え込まず過ごせるように支援する。

(2) 対象

発達に心配のある主に就園前の子どもの保護者

(3) 従事者

保育士・保健師

(4) 実施状況

ア 年度別実績（相談件数、居住地） （単位：人）

区分		R2	R3	R4	R5	R6
相談件数	実人数	104	150	139	99	148
	延べ人数	190	157	140	111	165
居住地	岡崎市	190	157	140	111	165
	幸田町	0	0	0	0	0

イ 令和6年度相談内訳（総数、年齢別、相談場所） （単位：件、％）

区分		相談内容		計(構成比)	
		就園相談	発達相談		
総数		130	35	165 (100)	
年齢別	0歳児	3	7	10 (6)	
	1歳児	11	17	28 (17)	
	2歳児	92	4	96 (58)	
	年少児	13	6	19 (12)	
	年中児	11	0	11 (7)	
	年長児	0	1	1 (1)	
相談場所	こども発達相談センター		46	25	71 (43)
	出張	地区子育て支援センター	0	5	5 (3)
		公私立保育園・公立認定こども園	15	5	20 (12)
		その他	69	0	69 (42)

※ 構成比（割合）は、小数点以下第1位を四捨五入しているため、値の合計は必ずしも100とはならない

6 就学時相談・就学後支援

(1) 目的

就学後の小学校において子どもの特性に応じた配慮や支援が円滑に行われるよう、就学に向けて相談を行う。また、就学後の状況を把握し、学習等の学校生活が安定するように保護者・子どもの支援を行う。

(2) 対象 ※ 次のア、イともに該当すること

ア 就学時相談：こども発達医療センターから、保護者の了解を得て紹介された年長児

イ 就学後支援：こども発達相談センターで就学の相談を行い、保護者とともに作成した「サポート情報」を小学校に提供した小学校3年生までの子ども

(3) 従事者

元教員、公認心理師

(4) 事業内容

ア 入学前に就学相談を行う。

(ア) こども発達医療センターからの情報を基に、就学に関する相談を行う。

(イ) 保護者とともに「サポート情報」作成する。

(ウ) 「サポート情報」を学校に届け、校長へ子どもに必要な支援等について説明をする。

イ 入学後、就学後支援として、保護者への電話相談及び学校訪問を行い、子どもの状況を観察・把握しつつ、保護者・子どもを中心に支援する。

(ア) 保護者に生活状況等に関するアンケートを実施し、希望する保護者に電話相談を実施する。(保護者へのアンケート内容：学校・家庭での困り感、相談先、利用機関、電話相談の希望有無など)

(イ) 小学校に対して訪問希望日調査及び担任に対して学校生活に関するアンケートを行い、訪問希望のある学校については、訪問による授業参観（児童観察）を実施の上、校長や担任等と情報交換や助言を行う。(担任へのアンケート内容：学校生活での困りごとや課題の有無（指示理解、放課の過ごし方、友達関係、学習状況）など)

(5) 実施状況

ア 就学時相談 年度別実績 (単位：人)

区分		R2	R3	R4	R5	R6
総数		104	87	67	50	42
実人数		95	86	67	50	42
居住地	岡崎市	94	84	66	50	42
	幸田町	1	2	1	0	0
在園先	保育園	52	38	41	19	22
	こども園		4	4	6	2
	幼稚園	43	44	21	25	18
	その他	0	0	1	0	0

イ 就学後支援（学校訪問による子どもの観察、保護者への電話相談）年度別実績

年度	対象	時期	対応	対象数	備考
R2	小学校1年 (R1年度 年長児)	5~7月	電話による聞き取り	保護者：65件/69件	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため訪問中止
				担任：68件/69件	
R3	小学校 1~3年	4~6月	学校への訪問・観察	182件	転校等で回答できないケースあり
			担任へのアンケート	1年:94件、2年:68件 3年:20件	
	保護者 1年	2月	保護者へのアンケート	回答数 51件/94件	
			希望者への電話相談	電話相談希望数 16件/51件	
R4	小学校 1~3年	5~6月	学校への訪問・観察	181件/252件 (35校/53校中)	○保護者への アンケート ・2年生まで拡大 ・年2回実施
			担任へのアンケート	1年:87件、2年:94件 3年:71件	
	保護者 1・2年	5~7月	保護者へのアンケート	108件/182件中	
			希望者への電話相談	8件/108件中	
		2月	保護者へのアンケート	117件/180件中	
			希望者への電話相談	15件/117件中	
R5	小学校 1~3年	5~7月	学校への訪問・観察	200件/246件 (31校/44校中)	○希望した学校のみ訪問 ・子どもの実態把握のためのアンケートは全回収
			担任へのアンケート	246件	
	保護者 1・2・3年	5月	保護者へのアンケート	154件/246件中	
			希望者への電話相談	15件/246件中	
		2月	保護者へのアンケート	148件/246件中	
			希望者への電話相談	13件/246件中	
R6	小学校 1~3年	5~7月	学校への訪問・観察	135件/200件 (32校/44校中)	○希望した学校のみ訪問 ・子どもの実態把握のためのアンケートは全回収
			担任へのアンケート	200件	
	保護者 1・2・3年	5月	保護者へのアンケート	117件/200件中	
			希望者への電話相談	5件/200件中	
		2月	保護者へのアンケート	126件/200件中	
			希望者への電話相談	18件/200件中	

7 福祉サービス等個別相談

(1) 目的

継続した療育の必要性がある子どもの保護者に対し、福祉サービスに関する情報提供や個々のニーズに応じた個別相談・支援を行う。

(2) 対象

こども発達センターを利用中または利用したことがある子どもの保護者

(3) 従事者

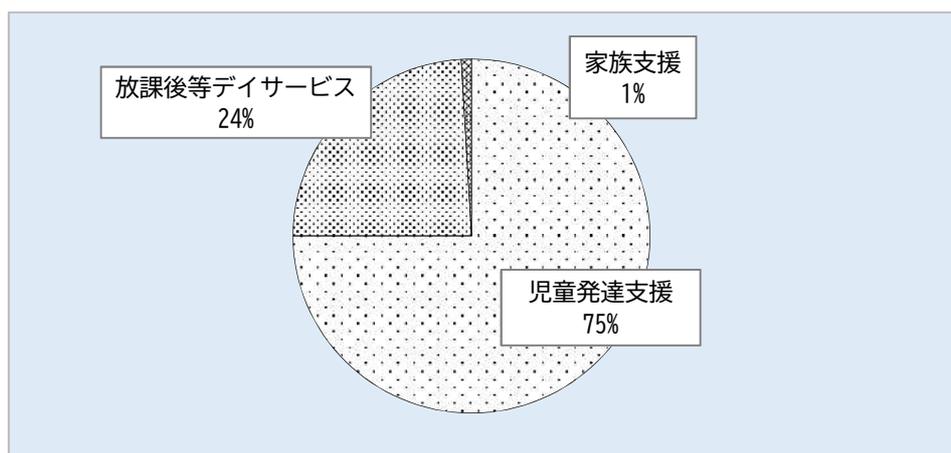
保健師、精神保健福祉士、社会福祉士

(4) 実施状況

ア 年度別実績（総数、相談種別、年齢別） （単位：人）

区分		R2	R3	R4	R5	R6
総数		165	162	149	121	108
相談種別	児童発達支援	96	82	81	75	81
	放課後等デイサービス	52	60	45	27	26
	家族支援	17	20	23	19	1
年齢別	1歳児	3	8	13	14	0
	2歳児	22	11	9	3	5
	年少児	39	41	29	26	27
	年中児	41	37	49	42	45
	年長児	58	64	47	34	31
	就学児	2	1	2	2	0

イ 令和6年度 相談種別



8 園巡回

(1) 目的

発達障がいと診断を受けた子ども及び発達に心配のある子どもの主な日中活動の場である園に対し、現状の把握やこども発達相談センターの事業説明を行い、発達に心配のある子どもが豊かな園生活を送るための基盤づくりを推進する。

(2) 対象

市内の公私立保育園・公立認定こども園・私立幼稚園・私立認定こども園の支援者
 ※ 私立幼稚園は幸田町も含む

(3) 従事者

保育士、公認心理師、保健師、精神保健福祉士

(4) 実施状況

ア 年度別実績

(ア) 公私立保育園・公立認定こども園（総数、種別） （単位：回）

区分		R2	R3	R4	R5	R6
総数		110	109	64	74	107
種別	公立保育園	68	67	38	46	63
	私立保育園	36	36	23	23	38
	公立認定こども園	6	6	3	5	6

※ 令和2年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、一部電話で状況確認を実施

(イ) 私立幼稚園・私立認定こども園（総数、所在地） （単位：回）

区分		R2	R3	R4	R5	R6
総数		25	25	24	17	25
所在地	岡崎市	22	22	21	15	22
	幸田町	3	3	3	2	3

※ 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、令和2年度から令和5年度は一部書面で状況確認を実施令和5年度は産休・育休による従事者の減少により、希望する園のみ実施

9 訪問支援

(1) 目的

発達に心配のある子どもとそれにより具体的な困りごとを抱える支援者に対し、主に日中活動の場となる保育園等に出向き、現場で活かせる対応や支援の検討を行うことにより、保護者と支援者の協力関係を築きやすくし、発達に心配のある子どもと保護者の生活基盤づくりを推進する。

(2) 対象

市内在住で発達に心配のある子どもが通う市内外にある保育園、幼稚園、認定こども園等の支援者

(3) 従事者

公認心理師、保健師、保育士、元教員、精神保健福祉士等

(4) 実施状況

ア 年度別実績（施設数、件数、延べ対象者数、施設別内訳、個別ケース年齢別内訳）

（単位：か所、件、人）

区分		R2	R3	R4	R5	R6	
実施施設数	実	7	13	11	12	23	
	延べ	15	16	19	20	30	
実施件数	個別ケース検討	15	16	19	17	25	
	研修型	-	-	-	3	5	
	計	15	16	19	20	30	
延べ対象（支援）者数		15	16	19	83	164	
施設別内訳	所在地	岡崎市	14	16	18	18	28
		幸田町	1	0	0	0	0
		その他	-	-	1	2	2
	分類	保育園・こども園	4	5	6	9	15
		幼稚園	11	11	12	9	12
		その他	-	-	1	2	3
個別ケース検討 年齢別内訳	1歳児	0	0	0	1	0	
	2歳児	0	1	0	1	4	
	年少児	8	4	3	4	9	
	年中児	2	8	12	5	2	
	年長児	5	3	4	6	10	

※ 令和4年度から岡崎市、幸田町以外の市町村にある施設も支援対象としたため、所在地に「その他」の項目を追加

※ 令和5年度から研修型（複数の支援者を対象にモデル事例を用いた事例検討）を実施

10 地域啓発（研修・出前講座等）

(1) 目的

支援者及び一般市民が、発達障がいに関する知識・理解を深め、発達障がいのある子どもが暮らしやすい地域づくりを推進する。

(2) 対象

発達に心配のある子どもや発達障がいのある子どもの保護者及び支援者、並びに一般市民

(3) 従事者

保健師、保育士、公認心理師、元教員等

(4) 実施状況

ア 支援者向け研修

(単位：人)

日程	対象・名称等	内容	場所	参加者
4月8日	保健所勉強会	にこにこきっず1・こども発達センター等に関する説明	岡崎げんき館	18
6月5日	放課後児童クラブ支援員研修	配慮が必要な児童への育成支援について	福社会館	200
6月27日	夏山小学校校内現職研修会	発達障がいについて	夏山小学校	10
7月4日	小規模保育事業所職員研修	岡崎市の発達を支援する仕組みと子どもの発達について	市役所	5
7月19日	まこと幼稚園教職員	岡崎市の発達支援の取り組み・早期発達支援システムについて こども発達センターについて	まこと幼稚園	21
7月22日	青山学園職員研修会	発達障がいを抱える子どもの特性と対応（※）	みやこ幼稚園	75+Zoom 参加者
8月28日	めぐみ幼稚園職員研修会	岡崎市の発達支援システムについて 事例検討研修（※）	めぐみ幼稚園	12
9月3日	みやこ第二幼稚園職員研修会	事例検討研修（※）	みやこ第二幼稚園	7
1月20日	矢作白鳥幼稚園職員	事例検討研修（※）	矢作白鳥幼稚園	4
1月29日	保健所勉強会	発達検査について	岡崎げんき館	19
1月30日	愛知県岡崎聾学校幼稚部研修会	気になる子どもの対応について（※）	愛知県立岡崎聾学校	12

※ 訪問支援で研修型として計上したものを再掲

イ 保護者向け研修

(単位：人)

日程	対象	内容	場所	参加者
7月1日	療育的支援事業 (にこにこきっず2) 利用児の保護者	就園の説明	こども発達支援センターむつみ	11
7月10日			岡崎げんき館	10
7月11日			岡崎市こども発達センター	10
7月22日			つどいの広場おひさま	11
7月4日	親子療育施設利用児 の保護者	就園の説明	こころん	25
8月1日			こども発達支援センター	29

ウ 出前講座

(単位：人)

日程	対象	内容	場所	参加者
10月18日	元能見保育園年中・ 年長児の保護者会	発達障がいを抱える子ども について考える	元能見保育園	41

エ その他

日程	対象	内容	場所
4月2日～ 4月8日	一般市民	世界自閉症啓発デー・発達障がい啓発週間 (ランドマークをシンボルカラーでライトアップ)	殿橋、 明代橋
9月12日	一般市民、 行政職員、 福祉事業者等	交流会「であい・ふれあい・つながりたい」 (ミニ講座、視覚支援関係展示)	福祉会館
11月20日～ 12月6日	一般市民	秋のこどもまんなか月間(パネル展示)	岡崎 げんき館

11 各種会議

名称	目的	参加機関	実績(回数・日程・内容等)
岡崎市こども発達センター関係機関連絡会議 ※	関係機関の機能及び事業の連携強化に関すること、こども発達センターの運用に関すること及び早期発達支援システムの運用に関すること等について意見聴取及び意見交換を行う	岡崎市医師会、岡崎歯科医師会、学識経験者、相談支援事業所、児童発達支援事業所、三河青い鳥医療療育センター、西三河福祉相談センター、私立幼稚園協会、保育園連絡協議会、教育委員会（学校指導課）、障がい福祉課、健康増進課、保育課	第1回：7月23日 第2回：1月21日 こども発達センターの各事業及び早期発達支援システムの評価、関係機関との意見交換
早期発達支援システム作業部会 分会（親子療育利用等検討会議）	発達に心配のある子どもの早期発達支援体制の課題検討	児童発達支援事業所、健康増進課	12回（毎月1回） 親子療育利用希望者の優先順位検討、早期発達支援システムにおける事業の運営上の検討、早期発達支援システムに関する実績報告
		健康増進課、こども発達医療センター	2月25日 3月17日 早期発達支援システムにおける評価と事業の検討
早期発達支援システム作業部会 分会（就園後支援体制検討会議）	こども発達センター利用児等の支援継続と、就園後のよりよい支援体制の検討	児童発達支援事業所、相談支援事業所、幸田町、健康増進課、保育課、総合子育て支援センター、障がい福祉課	第1回：5月15日 第2回：10月24日 第3回：10月28日 第4回：11月12日 単独療育（わかば・むつみ）新規利用希望児及び単独療育（わかば・むつみ）から就園等移行希望児の検討、情報共有 臨時：書面9回 ケース検討2月21日

※ 令和2年度から懇談会として実施

第3 こども発達医療センター

1 診療（初診・再診）

(1) 目的

ア 初診

対象となる子どもの発達・知能検査や遊びの様子を観察するとともに、保護者から家庭や園の様子を聴取する。

イ 再診

初診で収集した情報、発達・知能検査、行動観察を基に、特性の説明と特性や環境に配慮した支援プランを提案する。また、定期診察が必要と判断された子どもに対し、発達の経過や生活の状況を観察・評価を行い、保護者に助言する。

(2) 対象

かかりつけ医またはこども発達相談センター専門相談から紹介を受けた、発達に心配のある就学前の子どもとその保護者

(3) 従事者

医師、看護師、保育士、公認心理師

(4) 実施状況

ア 年度別実績

(ア) 受診児数 (単位：人)

区分		R2	R3	R4	R5	R6
総数		7,773	7,250	7,168	6,949	7,531
受診児数	初診児数	619	532	617	580	526
	再診児数	7,154	6,718	6,551	6,369	7,005

(イ) 初診児の居住地別内訳 (単位：人)

区分		R2	R3	R4	R5	R6
総数		619	532	617	580	526
居住地	岡崎市	574	486	570	527	474
	幸田町	45	46	47	53	52

(ウ) 再診児の居住地別内訳 (単位：人)

区分		R2	R3	R4	R5	R6
総数		7,154	6,718	6,551	6,369	7,005
居住地	岡崎市	6,510	6,177	6,109	6,022	6,331
	幸田町	644	541	442	347	674

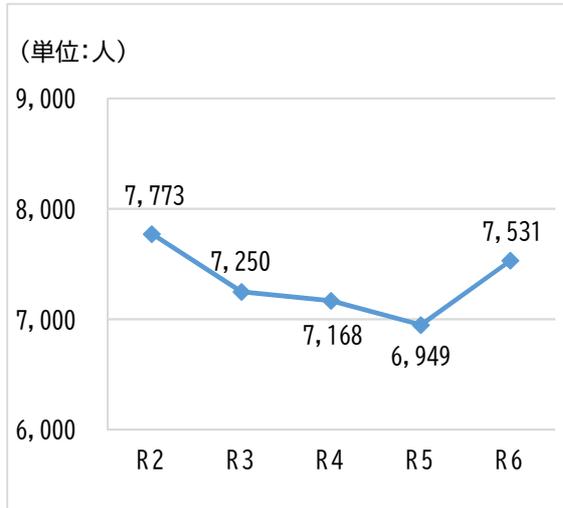
(エ) 予約から初診までの平均待機日数

(単位：日)

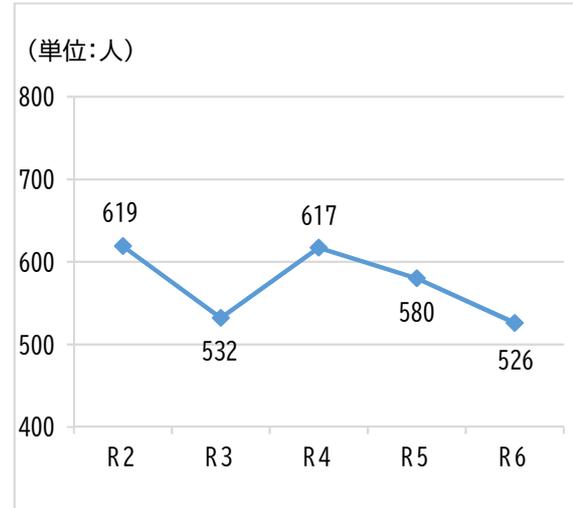
区分	R2	R3	R4	R5	R6
予約から初診までの平均日数	42	50	62	64	68

イ 年度別推移

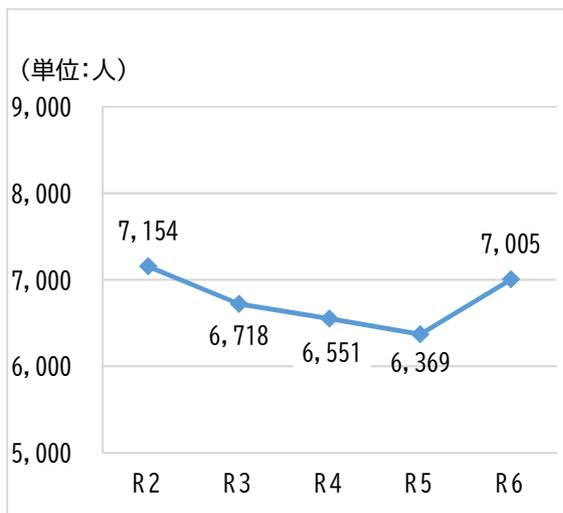
(ア) 受診児総数



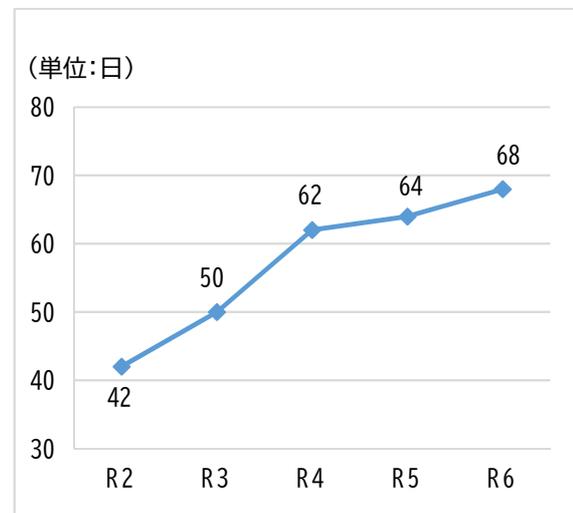
(イ) 初診児数



(ウ) 再診児数



(エ) 平均待機日数



2 発達評価

(1) 目的

ア 発達・知能検査

支援方針検討のため、必要に応じて医師の指示のもと公認心理師などが子どもの現在の発達段階について評価を行う。

イ グループ活動（はじめてさんの会）

初診後、6人程度の小集団を設定し、集団場面の様子を観察・評価する。様々な専門職が同席し、子どもを多角的に評価することで、より適切な支援方針を検討する。

(2) 対象

医師の指示に基づくケース

(3) 従事者

医師、公認心理師、言語聴覚士、作業療法士、保育士

(4) 実施状況

ア 年度別実績

(ア) 発達検査実施数

(単位：件)

区分	R2	R3	R4	R5	R6
発達・知能検査実施数	594	524	558	529	573

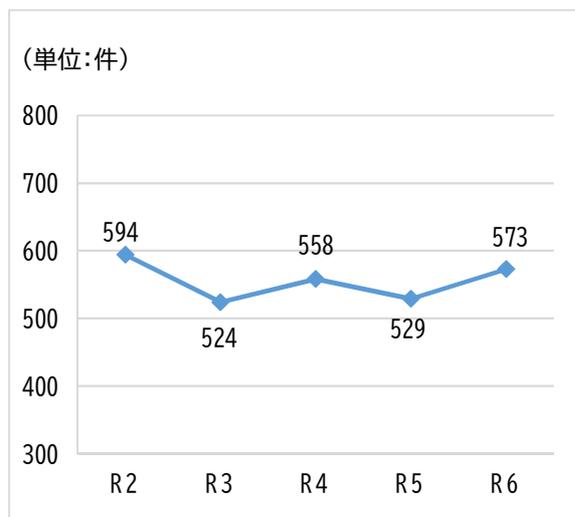
(イ) はじめてさんの会

(単位：人)

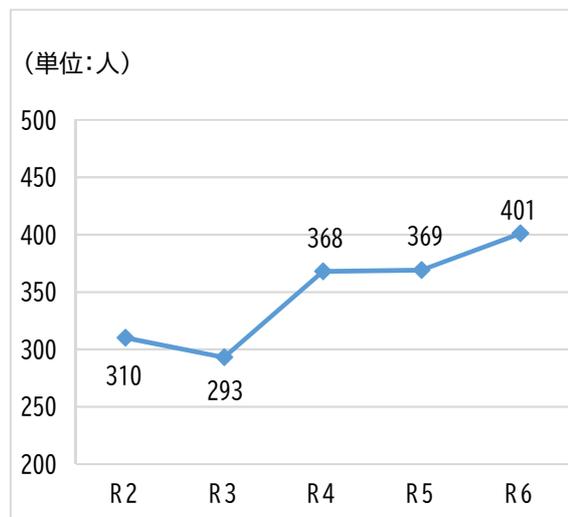
区分	R2	R3	R4	R5	R6
実施人数	310	293	368	369	401

イ 年度別推移

(ア) 発達・知能検査実施数



(イ) はじめてさんの会実施人数



※ はじめてさんの会は、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策により令和2年4月13日～5月25日、令和3年5月21日～6月21日、令和3年8月27日～9月27日の期間中止

3 支援

(1) 目的

個別またはグループで医療専門職が関わる中で「長所や特性の理解の促し」「問題行動の対応やアドバイス」を実施し、子どもの生活での適応と保護者の特性理解を促す。

(2) 対象

医師の指示に基づく、コミュニケーションや身体運動・感覚等に偏りがみられる子どもとその保護者

(3) 従事者

言語聴覚士、作業療法士、公認心理師、保育士

(4) 実施状況

ア 年度別実績

(ア) 言語療法延べ実施数 (単位：件)

区分		R2	R3	R4	R5	R6
総数		2,476	1,968	1,709	1,514	1,759
居住地	岡崎市	2,190	1,758	1,594	1,431	1,559
	幸田町	286	210	115	83	200

(イ) 作業療法延べ実施数 (単位：件)

区分		R2	R3	R4	R5	R6
総数		1,581	1,367	1,441	1,328	1,655
居住地	岡崎市	1,473	1,310	1,385	1,276	1,486
	幸田町	108	57	56	52	169

(ウ) 心理面接延べ実施数 (単位：件)

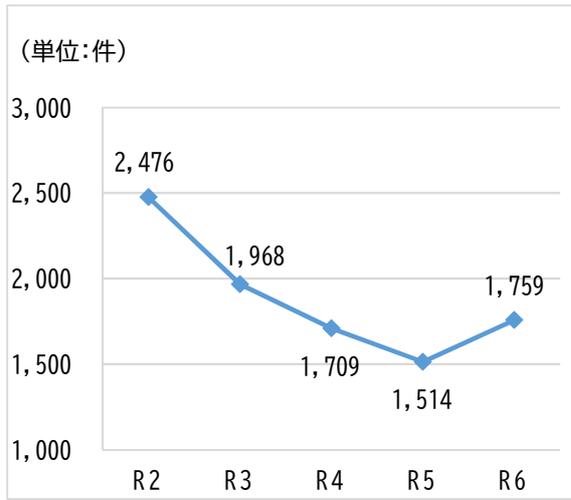
区分		R2	R3	R4	R5	R6
総数		496	417	244	238	299
居住地	岡崎市	461	382	223	233	286
	幸田町	35	35	21	5	13

(エ) グループ支援延べ実施数 (単位：件)

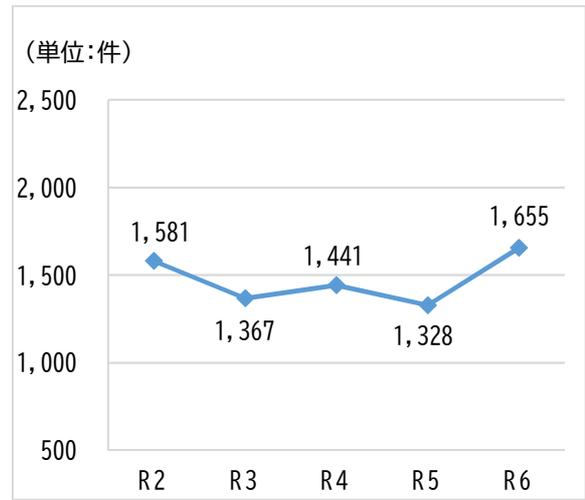
区分		R2	R3	R4	R5	R6
総数		170	414	323	286	237
居住地	岡崎市	170	392	300	286	217
	幸田町	0	22	23	0	20

イ 年度別推移

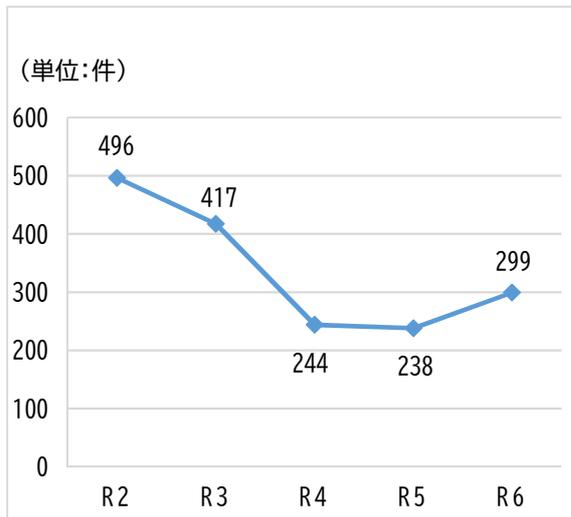
(ア) 言語療法延べ実施数



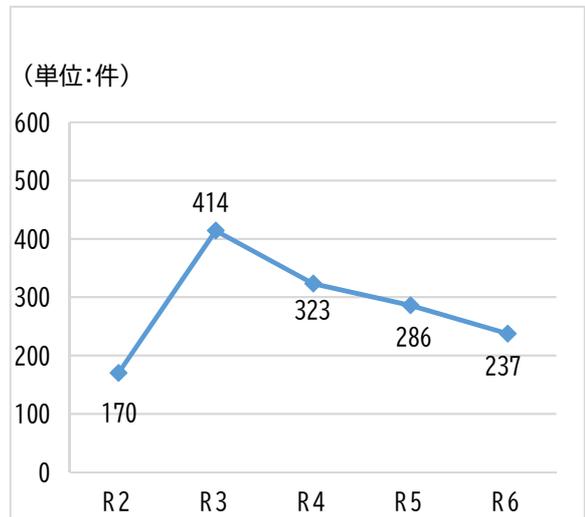
(イ) 作業療法延べ実施数



(ウ) 心理面接延べ実施数



(エ) グループ支援延べ実施数



※ グループ支援は、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策により令和2年4月1日～9月30日の期間中止

4 啓発事業

(1) 目的

保護者向けの講演会を実施し、子どもの特性理解の促進や、子育ての上で生じる困難感の軽減を図る。

(2) 対象

こども発達医療センター利用中の保護者

(3) 従事者

医師、言語聴覚士、公認心理師、元教員（こども発達相談センター）

(4) 実施状況

ア 年度別実績

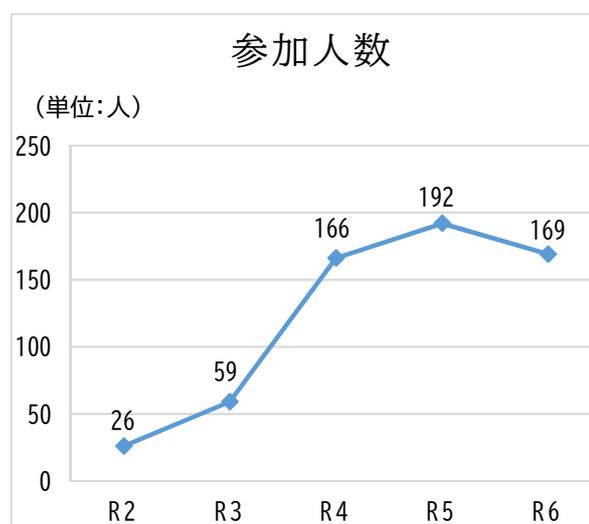
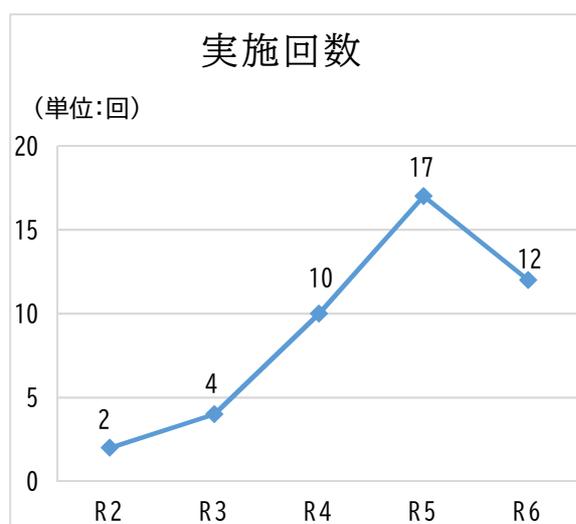
啓発実施回数と参加人数

(単位：回、人)

区分	R2	R3	R4	R5	R6
実施回数	2	4	10	17	12
参加人数	26	59	166	192	169

イ 年度別推移

啓発事業実施回数と参加人数



5 その他の事業

(1) 研修・講座

日程	名称等	内容
5月16日	保育課 障がい児連続研修	岡崎市こども発達医療センター概要 講師：医師 福本 由紀子 作業療法士 高山 絵美子
5月28日	保育課 障がい児連続研修	岡崎市こども発達医療センター概要 講師：医師 福本 由紀子 言語聴覚士 大澤 一将
7月30日	岡崎市立竜美丘小学校 現職研修	特性を持つ児童について 担任への指導・助言、保護者支援等、教員として適正に対応できる力量を高める 講師：医師 早川 文雄
8月27日	めばえ父母講座	発達特性をもつお子さんの理解と支援 講師：医師 高橋 ゆま
9月12日	岡崎市立岩津小学校 現職研修	こどもの成長・発達状況に合わせた支援 講師：医師 早川 文雄
12月4日	岡崎特別支援学校 現職研修 ST 講話	発達段階とコミュニケーション手段 講師：言語聴覚士 伊波 みな美
12月12日	岡崎市立常盤東小学校 現職研修	特性を持つ子どもの理解と支援 講師：医師 早川 文雄
1月24日	岡崎市立広幡小学校 現職研修	脳から見た「こころ」－発達障害の捉え方、育て方－ 講師：医師 早川 文雄
2月25日	めばえ父母講座	脳の働きからみた子育てハッピー・アドバイス 講師：医師 早川 文雄

(2) 医療センター主催講演会

7月27日	市民向け講座	発達の心配への処方箋 プロ直伝のハッピー子育て術 講師：医師 早川 文雄 言語聴覚士 大澤 一将
9月14日	支援者向け講演会	発達性読み書き障害の理解・評価・支援 講師：河野 俊寛（北陸大学国際コミュニケーション学部心理社会学科教授）

(3) 実習生受入れ

日程	学校名等	内容	人数
5月27日～7月5日	愛知学院大学健康科学科 言語聴覚士コース	言語聴覚士臨床実習	1
7月18日	人間環境大学大学院 人間環境学研究科 臨床心理研究指導分野	公認心理師見学実習	8
9月18日	愛知学院大学 心身科学部 心理学科	心理実習	9
1月27日～1月31日	名古屋医健スポーツ専門学校 作業療法科	臨床実習 I	1

第4 こども発達支援センター

1 児童発達支援事業【親子療育(めばえ)・単独療育(わかば)・保育後療育(つばさ)】

(1) 目的

心身の発達に遅れや心配のある子どもに、日常生活における適切な習慣を確立するための基本的な動作の指導、社会生活への適応性を高めるような知識技能の付与、集団生活への適応訓練などを行う。

ア 親子療育(めばえ)

心身の発達に心配のある子ども及びその保護者に対し、ともに通所して、遊びや生活を通して発達を促す療育を行う。

イ 単独療育(わかば)

心身の発達に心配のある子どもに対し、小集団の中で生活習慣や人との接し方などを学ぶための療育を行う。

ウ 保育後療育(つばさ)

地域の保育園・幼稚園などに通う子どもが、集団に適応し楽しく園生活を送れるよう、降園後に通所し、専門職が個々の発達課題に対して小集団療育を行う。

(2) 対象

ア 親子療育(めばえ)

岡崎市・幸田町在住で心身の発達の遅れや心配のある0歳～おおむね3歳の子どもと保護者

イ 単独療育(わかば)

岡崎市・幸田町在住で心身の発達の遅れや心配のある3歳児～就学前の子ども

ウ 保育後療育(つばさ)

岡崎市、幸田町在住で地域の保育園・幼稚園などに通い、園生活に伴って療育支援が必要な3歳児～就学前の子ども

(3) 従事者

保育士、作業療法士、言語聴覚士、臨床心理士等

(4) 実施状況

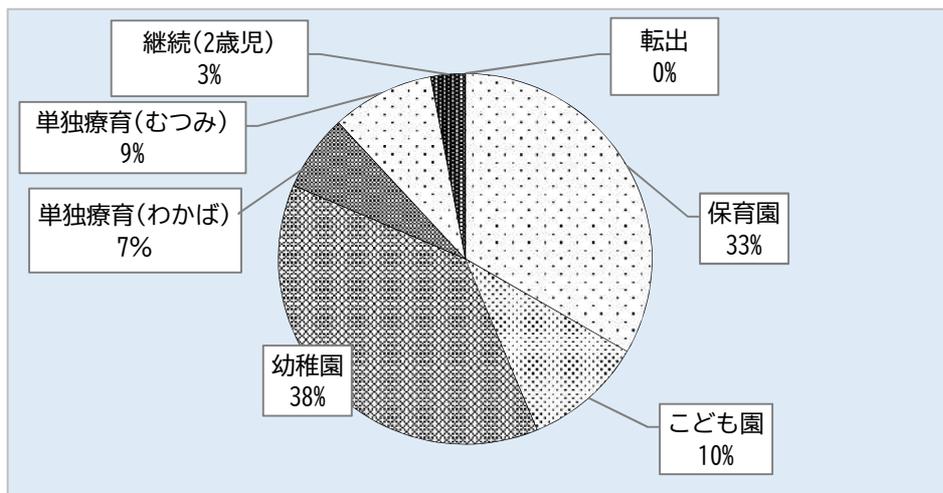
ア 親子療育(めばえ)

(ア) 年度別実績(登録者数・居住地・年齢)

(単位：人)

区分		R2	R3	R4	R5	R6
登録者数		128	142	150	146	135
居住地	岡崎市	115	130	138	136	127
	幸田町	13	12	12	10	8
年齢	1歳児	1	0	7	4	4
	2歳児	114	142	141	142	131
	年少児	13	0	2	0	0

(イ) 令和6年度 親子療育（めばえ）を利用している子どもの次年度所属先



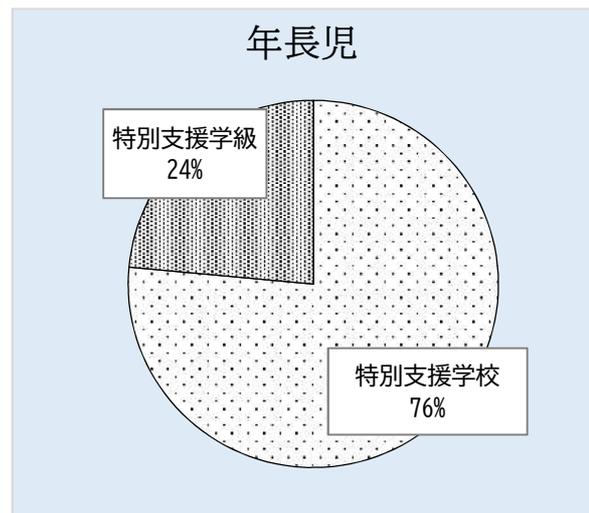
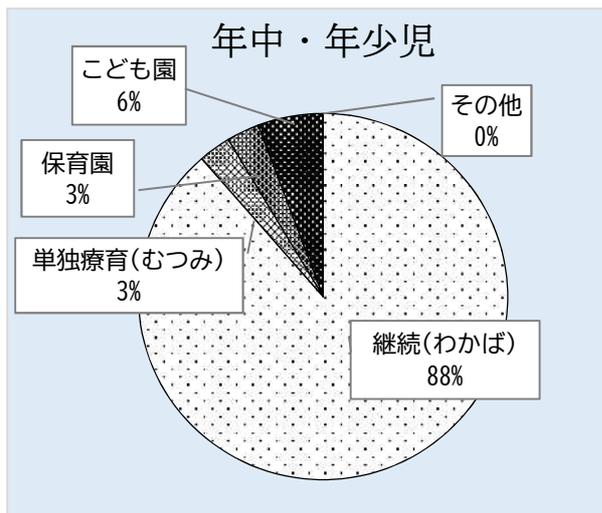
イ 単独療育（わかば）

(ア) 年度別実績（登録者数・居住地・年齢）

（単位：人）

区分		R2	R3	R4	R5	R6
登録者数		52	53	57	54	53
居住地	岡崎市	49	48	50	48	52
	幸田町	3	5	7	6	1
年齢	年少児	17	12	25	22	22
	年中児	22	18	15	18	14
	年長児	13	23	17	14	17

(イ) 令和6年度 単独療育（わかば）を利用している子どもの次年度所属先



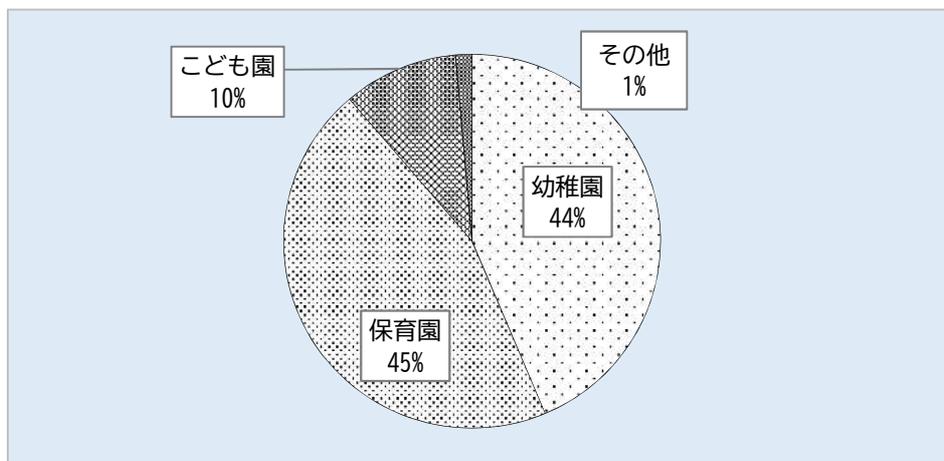
ウ 保育後療育（つばさ）

（ア） 年度別実績（登録者数・居住地・年齢）

（単位：人）

区分		R2	R3	R4	R5	R6
登録者数		96	102	102	127	142
居住地	岡崎市	81	92	92	121	138
	幸田町	15	10	10	6	4
年齢	年少児	33	40	35	43	31
	年中児	42	40	35	43	60
	年長児	21	22	32	41	51

（イ） 令和6年度 保育後療育（つばさ）を利用している子どもの在籍園



2 保育所等訪問支援事業（あおい）

(1) 目的

心身の発達の遅れや心配のある子どもが、集団生活に適応できるよう身体及び精神の状況並びにその置かれている環境に応じて適切かつ効果的な支援を行う。専門の職員が地域の保育園や幼稚園、小学校等を訪問し、それぞれの子どもに合った適切な支援方法を担当保育士、教諭等とともに考える。

(2) 対象

岡崎市・幸田町在住で地域の園及び学校に通っている発達支援が必要な子ども

(3) 従事者

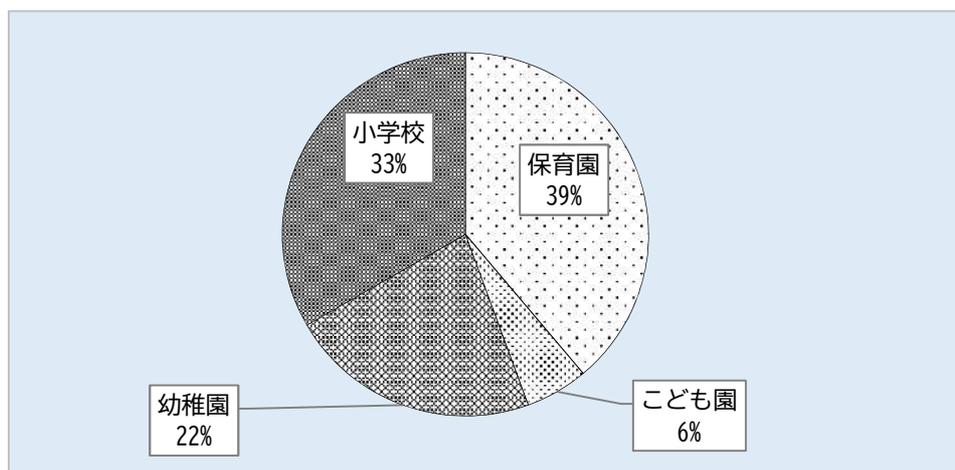
保育士、作業療法士、言語聴覚士、臨床心理士等

(4) 実施状況

ア 年度別実績（登録者数・居住地・年齢） （単位：人）

区分		R2	R3	R4	R5	R6
登録者数		44	50	47	42	54
居住地	岡崎市	29	33	28	25	37
	幸田町	15	17	19	17	17
年齢 (学年)	2歳児	1	3	0	0	0
	年少児	13	12	10	11	7
	年中児	14	20	16	14	17
	年長児	14	10	14	6	12
	小学1年生	1	3	2	3	6
	小学2年生	1	1	3	3	5
	小学3年生	0	1	1	3	2
	小学4年生	0	0	1	1	3
	小学5年生	0	0	0	1	1
	小学6年生	0	0	0	0	1

イ 令和6年度 利用している子どもの在籍園・在籍学校



3 日中一時支援事業（たんぼぼ）

(1) 目的

児童発達支援事業の単独通所（わかば）を利用する子どもの保護者が、就労と療育利用の両立をしやすいするために、療育開始前後の時間帯に子どもを預かり、見守り等を行う。

(2) 対象

単独通所（わかば）を利用している子ども

(3) 従事者

保育士、児童指導員

(4) 実施状況

ア 年度別実績（登録者数・居住地・延べ人数） （単位：人）

区分		R2	R3	R4	R5	R6
登録者数		10	11	8	11	13
居住地	岡崎市	10	10	7	9	12
	幸田町	0	1	1	2	1
延べ人数		1,497	1,857	786	1,281	1,840

4 相談支援事業

(1) 目的

発達に心配のある子どもと、その保護者・関係者からの相談に応じ、また障がい福祉サービスの利用申請時の計画書の作成や障がい福祉サービス支給決定後の連絡調整を行う。

(2) 対象

岡崎市・幸田町在住で発達の遅れや心配のある未就学の子ども、その家族、関係者

(3) 従事者

相談支援専門員

(4) 実施状況

年度別実績（相談件数・計画作成件数） （単位：件）

区分		R2	R3	R4	R5	R6
相談件数		3,707	2,802	2,595	2,787	1,717
計画作成件数	新規	431	547	770	952	850
	継続	283	255	242	171	61

5 きょうだい支援

(1) 目的

こども発達支援センターを利用している子どものきょうだい児を支援するため、イベントを開催する。

(2) 対象

こども発達支援センターを利用している子どものきょうだい児及びその保護者

(3) 実施状況

日程	名称等	内容	参加家族
8月17日	親子クッキング	「飾り巻きずしをつくろう」	7

6 家族支援

(1) 目的

こども発達支援センターを利用している子どもの家族を支援するため、各種講座やイベントを開催した。

(2) 場所

こども発達センター

(3) 実施状況

日程	名称等	内容	参加者
5月22日	父母講座	「食事について」・「子どもの口腔機能の向上について」① 講師：こども発達支援センター管理栄養士、言語聴覚士	31
5月30日	父母講座	「就園について」① 講師：こども発達支援センター所長	26
6月7日	父母講座	ペアレントメンター講座（茶話会） 講師：つぼみの会	23
6月14日	父母講座	「就園について」② 講師：こども発達支援センター所長	19
6月21日	父母講座	親子療育の家（旧緑の家）説明 講師：愛知県医療療育総合センター 職員	16
6月27日	父母講座	「就園先を選んだ理由」 講師：先輩ママ	30
7月10日	講演会	「子どもの可愛さと出会う子育て」 講師：近藤 直子（日本福祉大学名誉教授）	60
7月31日	説明会	保育園入所説明会 講師：幸田町こども課	7
8月1日	説明会	保育園入所説明会 講師：保育課	29
8月28日	父母講座	「発達特性を持つお子さんの理解と支援」 講師：こども発達医療センター医師	29

日程	名称等	内容	参加者
9月6日	父母講座	ペアレントメンター講座（サポートブック） 講師：つぼみの会	28
9月11日	父母講座	「自閉症の理解」① 講師：自閉症キャラバン隊 SWING	38
9月19日	父母講座	「子どもの歯科衛生について」 講師：岡崎歯科医師会	32
9月27日	父母講座	「姿勢と運動（運動が苦手なお子さんへ）」 講師：愛知県三河青い医療療育センター 理学療法士	29
10月31日	父母講座	「食事について」・「子どもの口腔機能の向上について」② 講師：こども発達支援センター管理栄養士、言語聴覚士	25
11月8日	父母講座	父親座談会 対応：こども発達支援センター所長、臨床心理士、言語聴覚士	10
11月13日	父母講座	ペアレントメンター講座（茶話会） 講師：つぼみの会	37
11月20日	父母講座	「感染症について」① 講師：こども発達支援センター看護師	32
11月22日	父母講座	「感染症について」② 講師：こども発達支援センター看護師	22
11月27日	父親講座	次年度福祉サービスについて① 講師：こども発達支援センター所長	48
12月4日	父親講座	次年度福祉サービスについて② 講師：こども発達支援センター所長	31
12月12日	父母講座	「自閉症の理解」② 講師：自閉症キャラバン隊 SWING	31
2月25日	父母講座	「脳の働きからみた子育てハッピー・アドバイス」 講師：こども発達センター長	46

第5 SPC（PFI事業者）管理部門の事業

1 総合受付

こども発達センターの総合的な窓口として、利用者の目的に応じて案内を行う。またこども発達相談センター、こども発達医療センター、こども発達支援センターと連携を図り、スムーズに運営できるよう調整を行う

開館日 月曜日から土曜日まで

ただし、祝日法による休日及び1月2日、同月3日、12月29日から同月31日までを除く

※こども発達医療センターは月曜日から金曜日まで開所

開館時間 8時30分から17時15分まで

2 託児室

(1) 目的

こども発達センター及び友愛の家を利用する子どもの保護者が、利用に専念できるよう、利用する子どもの兄弟姉妹を有料で預かる

(2) 対象

保護者と共にこども発達センターを利用する子どもの兄弟姉妹及び友愛の家を利用する保護者の子ども（未就学までで利用時間帯に保育所等や保護者以外による育児ができない場合に限る）

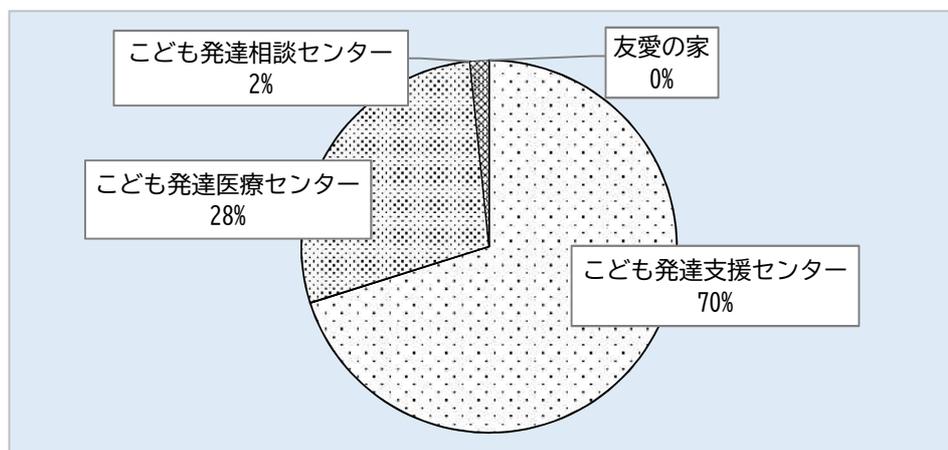
(3) 利用実績

ア 年度別実績（登録者数・延べ利用者数・居住地）

（単位：人）

区分		R2	R3	R4	R5	R6
登録者数		126	114	146	143	111
延べ利用者数		2,007	1,824	1,688	2,236	1,753
居住地	岡崎市	1,740	1,674	1,648	2,188	1,703
	幸田町	267	150	40	48	50

イ 令和6年度 託児室利用者の利用施設



3 オープン・スペース（一般開放の遊戯室）

(1) 目的

子どもの特性等により地域の遊び場になじめない親子に対し、社会参加のきっかけ作りを促すことを目的として気兼ねなく遊べる場を提供する

(2) 利用実績

ア 年度別実績（延べ利用者数）

（単位：人）

区分	R2	R3	R4	R5	R6
延べ利用者数	-	-	7	438	1,607

※ 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、令和2年3月13日から利用を中止しており、令和2年度及び令和3年度は利用実績なし

4 体育館等有料施設

(1) 目的

体育館及び各種会議室等を備え、こども発達センター及び友愛の家の事業で利用するほか、有料施設として一般に貸出しを行う

(2) 対象

障がい者団体、障がい児・者及びその支援者、障がい福祉サービス事業所等、岡崎市及び幸田町在住の一般利用者

(3) 利用実績

ア 年度別実績（施設別延べ利用者数）

（単位：人）

区分	R2	R3	R4	R5	R6
調理体験室	179	350	783	1,182	771
研修室	3,963	4,346	6,997	6,551	7,164
第1多目的室	2,646	7,043	8,596	9,344	10,240
第2多目的室	2,755	6,318	8,393	9,331	10,220
体育館	14,980	21,320	25,256	29,579	25,716
計	24,523	39,377	50,025	55,987	54,111

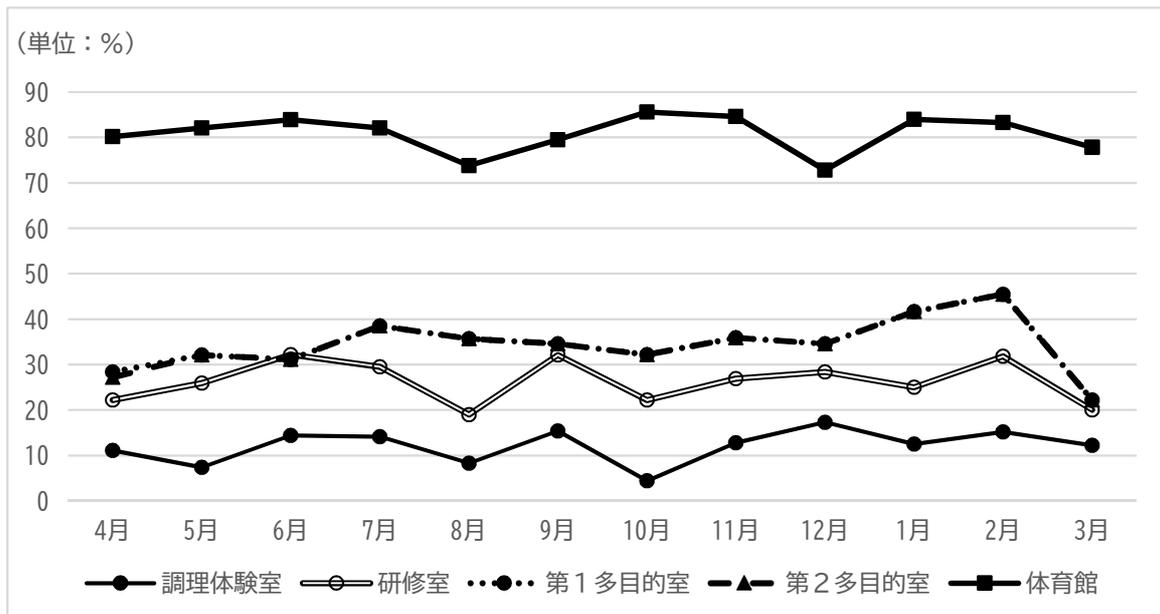
※ 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、令和2年3月13日から5月31日及び令和3年1月18日から2月7日まで貸出しを中止

イ 令和6年度 月別実績

(単位：人、%)

区分		調理 体験室	研修室	第1 多目的室	第2 多目的室	体育館	合計延べ人数
							平均稼働率
4月	延べ人数	72	475	632	612	1,905	3,696
	稼働率	11.1	22.2	28.4	27.2	80.2	41.6
5月	延べ人数	172	662	624	624	2,060	4,142
	稼働率	7.4	25.9	32.1	32.1	82.1	43.6
6月	延べ人数	64	610	797	797	2,242	4,510
	稼働率	14.4	32.2	31.1	31.1	83.9	46.1
7月	延べ人数	69	1,172	1,467	1,467	2,415	6,590
	稼働率	14.1	29.5	38.5	38.5	82.1	47.4
8月	延べ人数	29	357	817	817	1,496	3,516
	稼働率	8.3	19.0	35.7	35.7	73.8	41.1
9月	延べ人数	52	660	828	828	1,554	3,922
	稼働率	15.4	32.1	34.6	34.6	79.5	45.9
10月	延べ人数	10	527	789	789	2,599	4,714
	稼働率	4.4	22.2	32.2	32.2	85.6	43.7
11月	延べ人数	60	514	903	903	2,319	4,699
	稼働率	12.8	26.9	35.9	35.9	84.6	46.8
12月	延べ人数	90	696	791	791	2,600	4,968
	稼働率	17.3	28.4	34.6	34.6	72.8	43.4
1月	延べ人数	34	472	856	856	1,979	4,197
	稼働率	12.5	25.0	41.7	41.7	84.0	48.1
2月	延べ人数	67	571	963	963	1,759	4,323
	稼働率	15.2	31.8	45.5	45.5	83.3	50.8
3月	延べ人数	52	448	773	773	2,788	4,834
	稼働率	12.2	20.0	22.2	22.2	77.8	38.7
合計延べ人数		771	7,164	10,240	10,220	25,716	54,111
平均稼働率		12.1	26.3	34.4	34.3	80.8	44.8

ウ 令和6年度 施設別稼働率推移



岡崎市こども発達センター

すくも



✿施設の愛称「すくも」✿

みんな元気にすくすく育てほしい思いを込めて「すくすく育つこども」を略したものです

✿キャラクター紹介✿

種の妖精 すーりん 葉っぱの妖精 くーりん 花の妖精 もーりん

名前の由来：施設の愛称「すくも」の頭文字からとっています

なぜ妖精なのか：常に優しく見守っているイメージがあり、頭には種や双葉や花が付いていて、成長や開花を表しています

ほっぺに桜がある：「日本さくら名所100選」に選定された岡崎公園や当施設に咲く桜の花びらモチーフにしました

「りん」：三河弁の語尾に使われています

令和6年度 岡崎市こども発達センター事業報告（発行 令和7年7月）

岡崎市こども発達センター（すくも）

所在地：〒444-0011 岡崎市欠町字清水田6番地4

電話：0564-23-7564（代表） F A X：0564-23-7577

ホームページ：<https://fukushi-okazaki.jp/kodomohattatsu-center/>

【こども発達センターHP】

【発行担当】 こども発達相談センター（すくも3階）

電話：0564-23-7534・7067 F A X：0564-23-7538

